

1985～86年

年次報告

昭和60～昭和61年度



横浜緑ロータリークラブ

あなたが鍵です **YOU ARE THE KEY**

1985～86 RI会長
エドワード F. カドマン



目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	3
クラブ奉仕担当理事報告	7
出席委員会報告	7
職業分類委員会報告	10
親睦活動委員会報告	11
雑誌委員会報告	12
クラブ会報委員会報告	12
会員選考委員会報告	13
会員増強委員会報告	16
プログラム委員会報告	16
ロータリー情報委員会報告	20
広報委員会報告	20
S・A・A報告	21
社会奉仕委員会報告	21
青少年委員会報告	22
インターアクト委員会報告	22
ローターアクト委員会報告	23
職業奉仕委員会報告	23
国際奉仕委員会報告	24
世界社会奉仕委員会報告	25
ロータリー財団委員会報告	25
米山奨学委員会報告	27
会 計 報 告	28
横浜緑ロータリークラブ組織表	32
備 品 目 録	33
充填・未充填職業分類表	34

会 長 報 告

会 長 田 沼 文 衛

本年度一年間、理事・役員をはじめ会員の皆様方の御指導、御協力により、会長の重責をつとめることができましたことを深く感謝申し上げます。

クラブ奉仕をはじめ、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕の各委員長、委員の皆さん、着実に実績を挙げて戴きました。重ねて厚く御礼申し上げます。

年度頭書に、エドワード F. カドマン R I 会長のテーマ『あなたが鍵です』その鍵がロータリーへの扉を開く鍵である。と、又259地区上野良一ガバナーの活動方針として V. S. O. P を示されました。会長方針は『心のふれあいを深めよう』をテーマとして、会員の皆さんと共に実りあるロータリー活動を進めて参りました。

本年度が大過なく、無事終了することが出来たのは前会長戸田裕也さんの御指導、御支援の賜と深く感謝申し上げる次第であります。

今期は、①地区大会に、コ・ホストとして、大会副委員長に森 善助会員、大会副 S. A. A に 近藤襄会員、交通委員長に横井好明会員、国際交歓委員長に大島匡佐会員の御協力を得、②地区第3,第4分区 I, G, F にはパネリストとして、1)「クラブ奉仕に光を当てよう」に名倉健二会員、2)「青少年奉仕に光を当てよう」に鶴川 昇会員が夫々参画し成果を収めることができました。③国際ロータリー第204, 205地区(イタリー・ミラノ市周辺地域)よりの G, S, E として、カッターネオ, ジュゼッペ団長の率える団員6名を地区内施設の案内, 歓待及びフォームスターなど第4分区合同にて行い、一行より感謝された。④地区インターアクトクラブ海外(台湾)研修旅行には、地区委員長戸田裕也氏外会員6名が参加活動に貢献した。(以上は地区関係の主な活動)

クラブ奉仕 ○出席委員会 会員の出席率は 96 %台に止まった。

○親睦委員会の活動は、会員、家族の親睦会として横浜港マリンシャトル号により、会員、家族共々港内見学と懇親会 ②郵便貯金会館における、クリスマス会の夕べを設けた。③会員の期末懇親会は、熱海ホテルニューアカオにおいて開催した。④夜間例会には国際奉仕委員会と共催にて東京工業大学の留学生を招待し、国際交流国際理解を深めることができた。又会員及会員家族(夫人の会)を夜間例会に招待して親睦を計った。

その他囲碁、麻雀、テニス、ゴルフ等の同好会を催すなど、巾広く親睦の輪を広めた。別に会員夫人の会を催すなど親睦を計った。

○会員増強委員会、期間中会員増強については、8月に会員増強月間を設け、5人制グループを編成し、鋭意増強に努めた結果、50名の大会に到達することができた、増強委員長はじめ会員各位の努力に対し深く感謝申し上げたい。(増加10名中新会員8名、補充2名、退会5名中健康上1名、事業

体と関係を断つ3名、その他1名)期首45名、期末50名となる。

○プログラム委員会 「地域に密着」ということで市経済局工業課長、緑警察署長、港北職業安定所長等の方々を招聘し卓話をお願いした。

○ロータリー情報委員会、夜間例会等において新旧会員との間における、理解・親睦を深める為の会合を催し実効を収めた。

◎ 社会奉仕委員会、 例年行っている中里学園に対するクリスマスプレゼントを始め、会員供出品によるチャリティーバザーによる売上金を交通委員会へ交通人形を、学校ビデオ、青少年野球大会などに提供した。

○インター、ローターアクトクラブ例会には勉めて会員の出席を奨励し次代のロータリアン養成に協力した。

◎ 職業奉仕委員会、 N. T. T コミュニティーセンターの見学会を行い技術革新社会の認識と会員の頭の体操を行い有意義であった。

◎ 国際奉仕委員会、 韓国ナザレ園に対する救援金の拠出は例年にない実施している。又メキシコ地震、コロンビア災害に対する救援金の拠出を行った。

ロータリー財団への寄金拠出に新にポール・ハリスフェロー2名、準フェロー1名となる。

米山奨学金に対して普通、特別共々応分の拠出を行った。

本年は戸田前会長の指導と岩岡幹事の絶大なる御協力を得て、無事一年の終末を迎えることができましたこと衷心より感謝いたします。

幹 事 報 告

幹 事 岩 岡 正
副幹事 赤 柄 忠 昭

クラブの概況

名 称	横浜緑ロータリークラブ		
地 域	横浜市緑区	人 口	380,231人
		世帯数	129,865世帯(6.30現在)
事 務 所	横浜市緑区中山町230 横浜銀行中山支店内		
例 会 場	同 上		
例 会 日	毎週水曜日 12:30~13:30		
創 立	昭和45年2月28日 (スポンサークラブ 横浜港北RC)		
	昭和45年3月11日 RIの正式加盟承認		
	特別代表 山 崎 卯 一		
	昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同		
	(於 横浜市文化体育館)		
	昭和53年5月27日 横浜田園RC創立総会		
	於 三井銀行青葉台支店		
	(移籍会員4名)		
	昭和52年11月23日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ		
	認証状伝達式挙行(於 桐蔭学園)		
	昭和55年11月23日 桐蔭学園高専ローターアクトクラブ		
	創立総会(於 桐蔭学園)		
	昭和59年3月27日 横浜たまRC創立総会		
	於 和光証券(移籍会員5名)		
付 記	所属地区は頭初第359地区、昭和49年7月第359地区より山梨県・静岡県を区域とする第362地区が分割され、当地区は神奈川県1県となりました。		
	昭和52年7月よりRIの地区変更により第259地区となりました。		

1. 会 員 (6月30日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員	36 名
シニア・アクティブ会員	14 名
計	50 名 (内 チャーターメンバー 7名)

(2) 年 令

41 ~ 45才	5 名	最高年令	80 才
46 ~ 50才	9 名	最低年令	40 才
51 ~ 55才	10 名	平 均	57 才
56才以上	26 名		

現会員で当クラブ会員としての在籍年数

1 年 未 満	14 名		
1 ~ 3 年	4 名		
4 ~ 6 年	7 名	平 均	約 7.5 年
7 ~ 9 年	4 名		
10 年 以 上	21 名		

2. 例会来客数

例 会 数 50回

来 客 数 ゲスト及ビジターの合計数 130名

(内 ゲスト 61名)

月	例 会 数	来 客 数	月	例 会 数	来 客 数
7	5	14	2	4	10
8	4	7	3	4	8
9	4	10	4	5	12
10	5	23	5	4	10
11	4	15	6	4	8
12	4	7			
1	3	6	計	50	130

一例会平均2.6名

〔入 会 者〕

飯 田 重 雄 君	60 年 9 月 25 日入 会	印 刷
上 林 正 勝 君	60 年 9 月 25 日入 会	循環器科医
森 一 哉 君	60 年 11 月 6 日再入会	幼 稚 園
高 嶋 経 保 君	60 年 12 月 4 日入 会	広告取扱
田 中 克 己 君	61 年 1 月 8 日入 会	活版印刷
渡 辺 俊 男 君	61 年 3 月 12 日入 会	電話事業
小 杉 隆 君	61 年 6 月 11 日入 会	木造建築
斎 藤 宏 一 君	61 年 6 月 11 日入 会	土地賃貸
和 田 功 君	61 年 6 月 11 日入 会	行政書士
横 尾 裕 生 君	61 年 6 月 25 日入 会	地方銀行

〔退 会 者〕

田 辺 政 雄 君	60 年 12 月 30 日退 会	病 気
大 島 匡 佐 君	61 年 1 月 31 日退 会	転 勤
河 原 照 忠 君	61 年 3 月 31 日退 会	転 勤
横須賀 和 吉 君	61 年 4 月 30 日退 会	転 勤
豊 田 洋 君	61 年 5 月 31 日退 会	一身上の都合

〔歴代会長・幹事及会員数，出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	92.86 %	45年6月迄
45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24 名	98.58 %	
46～47	(秋 田 茂)	三 沢 君 夫	41 名	98.09 %	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40 名	94.29 %	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37 名	98.40 %	
49～50	鵜 川 昇	山 下 栄 蔵	39 名	97.67 %	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42 名	97.38 %	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47 名	98.60 %	
52～53	三 沢 君 夫	岡 本 健	48 名	98.82 %	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47 名	98.57 %	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50 名	98.74 %	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45 名	99.33 %	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50 名	99.18 %	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48 名	99.11 %	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50 名	97.86 %	
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45 名	96.31 %	
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45 名	96.27 %	
61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50 名		

〔チャーターメンバー〕 現会員 7 名

秋 田 茂	55. 2.20 死亡	足 立 英 一	46. 9. 1 退会
石 川 治 道	52. 6.30 退会	麻 生 和 衛	54.12.26 退会
岩 崎 董 正	57. 6.30 退会	藤 森 茂	47. 4. 5 退会
小 林 安 雄		浜 田 淳太郎	48. 1.31 退会
小 峰 政 博	48.10.20 退会 相模原南R Cへ	細 辻 文 次	47. 6.28 退会
中 山 恒三郎	60. 4.24 退会	岩 本 正 三	
柴 田 清	48. 4. 4 退会	松 田 三 郎	47. 6. 7 退会
鈴 木 憲 一	54. 9. 1 死去	三 橋 英 一	
土志田 昭 吉	54. 8.29 退会	名 倉 健 二	
岡 本 健		富 永 力	
志 田 宝	47. 1.29 退会	鵜 川 昇	
高 橋 正 文	50. 6.26 退会	吉 田 晴太郎	48. 5. 2 退会

クラブ奉仕担当理事報告

担当理事 中 林 靖

『心のふれあいを深めよう』の会長方針にそって、クラブの「活性化をはかるにはどうすればよいのか」ということを主題とし、多数の会員から意見を聞くためにロータリー情報委員会がリーダーとなり、活発なフォーラムが数回行われ、今後のクラブの発展のために非常に有意義であった。

出席委員会報告

委員長 加 藤 貞 夫

副委員長 土志田 猛

1. ロータリー活動の基本は例会出席である事を強調し、機会あるごとに呼びかけた。
2. 地区大会及び I G F 等又はホームクラブの年間行事に積極的に参加を強調した。
3. ホームクラブ100%出席者 内野会員、田沼会員を表彰した。

1985～86(60～61)年度

1985	1 例会日付	2 会 員 総 数 (名誉会員) を 除 く	3 出席計算に用 いた会員数	4 出席又はメー ク・アップし た 会 員 数	5 百 分 率
7 月	3	46	41	38	92.63
	10	46	41	40	97.56
	17	46	41	40	97.56
	24	46	41	40	97.56
	31	46	41	40	97.56
				合 計	482.87
				平均百分率	96.57
8 月	7	45	41	39	95.12
	14	45	41	39	95.12
	21	45	40	38	95.00
	28	45	40	40	100
				合 計	385.24
9 月	4	45	40	39	97.50
	11	45	40	39	97.50
	18	45	38	38	100
	25	47	40	40	100
				合 計	395.00
10 月	2	47	39	38	97.44
	9	47	39	39	100
	16	47	38	36	94.74
	23	47	38	37	97.37
	30	47	38	38	100
				合 計	489.55
				平均百分率	97.91
11 月	6	48	41	41	100
	13	48	41	41	100
	20	48	41	38	92.68
	27	48	41	39	95.12
				合 計	387.80
12 月	4	49	42	38	90.48
	11	49	42	40	95.24
	18	49	42	40	95.24
	25	49	42	42	100
				合 計	380.96
				平均百分率	95.24

1986	1 例 会 日 付	2 会 員 総 数 (名 誉 会 員 を 除 く)	3 出 席 計 算 に 用 い た 会 員 数	4 出 席 又 は メ ー ク ・ ア ッ プ し た 会 員 数	5 百 分 率
1 月	1	休			
	8	49	43	41	95.35
	15	休			
	22	49	43	41	95.35
	29	49	43	41	95.35
				合 計	286.05
2 月				平均百分率	95.35
	5	48	41	40	97.56
	12	48	41	39	95.12
	19	48	41	41	100
	26	48	41	41	100
				合 計	392.68
3 月				平均百分率	98.17
	5	48	41	39	95.12
	12	49	42	40	95.24
	19	49	41	38	92.68
	26	49	41	39	95.12
				合 計	378.16
4 月				平均百分率	94.54
	2	48	39	37	94.67
	9	48	38	36	94.74
	16	48	37	35	94.59
	23	48	37	35	94.59
	30	48	37	37	100
5 月				合 計	478.59
				平均百分率	95.72
	7	47	36	34	94.44
	14	47	36	33	91.67
	21	47	36	33	91.67
	28	47	36	34	94.44
6 月				合 計	372.22
				平均百分率	93.06
	4	46	35	34	97.14
	11	49	38	37	97.37
	18	49	38	38	100
	25	50	39	36	92.31
				合 計	386.82
				平均百分率	96.70

年平均 96.27%

本年度個人100%出席者並びに連続100%の会員は下記の通りです。

○ …… 本年度 100% ◎ …… ホームクラブ 100%

数字は連続年数

	前年度迄	本 年	計		前年度迄	本 年	計
赤 柄	8	○	9	寺 崎	4	○	5
遠 藤	5	○	6	戸 田	13	○	14
飯 塚	2	○	3	内 野	9	◎	10
岩 岡	10	○	11	鷗 川	15	○	16
小林(新)	○	○	1	渡 辺(宏)	○	○	1
幸 内		○	1	好 井	1	○	2
近 藤	1	○	2	上 林	9/25 入会	○	入会以来
三 沢	11	○	12	森 一哉	11/6 入会	○	入会以来
森	6	○	7	高 嶋	12/4 入会	○	入会以来
長 瀬	2	○	3	田 中	1/8 入会	○	入会以来
中 林	12	○	13	小 杉	6/11 入会	○	入会以来
中 畑	4	○	5	斉 藤	6/11 入会	○	入会以来
中 村	6	○	7	和 田	6/11 入会	○	入会以来
岡 本	10	○	11	横 尾	6/25 入会	○	入会以来
田 沼	9	◎	10				

職 業 分 類 委 員 会 報 告

委 員 長 赤 柄 忠 昭

副委員長 中 畑 龍 二

本年度もガバナー方針に基づき会員増強しやすい職業分類表を作成し全会員に配布した。

そのため会員増強ができ成果はあったと思います。

親睦活動委員会報告

委員長	横井好明				
副委員長	藪島五郎				
委員	赤柄忠昭	加藤貞夫	(大島匡佐)		
	小林敬	中村彰宏	金子功		
	渡辺宏未	飯塚金次郎	野村壮一郎		
	土志田猛	小林新一	飯田重雄		
	上林正勝	森一哉	高嶋経保		
	田中克己	渡辺俊男	小杉隆		
	斉藤宏一	和田功			

1. (夜間例会)

- ▲60年10月30日, 新横浜ホテルに於いて, 台湾, フランス, 韓国, フィリッピン, ネパール等の海外留学生8名を招き, 会員31名と共に開催し学生との交流を計った。
- ▲61年1月29日, 東京浜松町謝朋殿に於いて開催, 会員28名の参加を得て親睦の意義をたかめた。
- ▲61年4月30日, 横浜駅西口加登屋本店に於いて, ご夫人16名の同席のもとに会員38名花ある会場となり歓談の一時を過した。

2. (会員家族親睦会)

- ▲60年9月21日, 新船マリンシャトル号にて, ご夫人5名の参加及び会員15名にて, 横浜港の見学をしながら懇親をした。
- ▲60年12月16日, 横浜郵便貯金会館に参集ご家族28名, 会員32名により, 余興もにぎやかにクリスマス会の夕べを祝った。

3. (期末懇親会)

- ▲61年6月18日, 熱海ニュー赤尾ホテルにおいて盛会に囲碁同好会等あり, 一層の親睦とリラックスを得た。

4. (同好会)

- ▲60年10月16日, 熱海石亭にて, 麻雀会を開催, 外にテニス, 囲碁, ゴルフ等の同好会も随時催された。

5. (夫人の会)

- ▲60年11月6日, 横浜駅東口土佐藩に於いて, 夫人14名にてお国料理を満喫親睦の談笑裡に散会。
- ▲61年4月30日, 上記加登屋において夜間例会に共に出席あり。

雑誌委員会報告

委員長	薮島五郎
副委員長	小林安雄
委員	富永力
	岩本正三

1. 会員に各号毎に必読箇所を説明して未読者の参考にした。
2. 雑誌月間に雑誌についてのフォーラムを行った。

クラブ会報委員会報告

委員長	中畑龍二	
副委員長	渡辺宏未	
委員	飯塚金次郎	野村壮一郎
	土志田猛	中村彰宏

1. 表紙のデザインを変えて関心を促して出席の改善をはかろうとしたが、余り効果はなかった。
2. 例会のプログラム、前回の例会の重要事項を報告し、ロータリー知識を提供した。
3. クラブ、会員、世界各地のロータリー・プログラムに関するニュース、ロータリーの奉仕の理想に関する記事を載せた。
4. 各委員会の仕事についての記事を載せた。
5. 近隣クラブと会報の交換を図り、広報委員会の協力を得て地域社会各方面に会報を配布し、ロータリー活動を正しく理解されるよう努力した。
6. 7月～12月迄はゆとりある4頁、1月～6月迄は活字を少し小さくし、行間をつめて2頁に編集した。
7. 外部からの卓話者よりの原稿を載くよう努力してほしい。

会員選考委員会報告

委員長 戸田 裕也
副委員長 遠藤 真作
委員 矢島 誠治

- ① 会員選考基準のフォームを別刷する。
- ② たった1日の1～2時間の対話の中でその人間の適・不適を見極めるすべもないが、努力のわりには報いらなかった。
- ③ ロータリー歴の古い委員長が当たり前常識となってしまった事項を短時間に解説しても実際はわかってもらえていない事がわかった。
- ④ やはり推薦者、情報委員会によるフォローが、新入会員入会後は必須であると感じた。

新入会員候補者選考基準

緑ロータリークラブ

1. 四つのテストの遵守：

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

2. 最初の1年間のホームクラブへの出席義務：

年間平均50回の例会があるが最初の1年間はホームクラブへ100%出席することが望ましい。

ホームクラブへ多く出席することにより他の会員との親睦が深まり、又出席は会員としての最小限の奉仕と考えていただきたい。

自分で自己の時間を作れる職業上の立場にあること。

《出席なくしては何事も達成されない!!》

3. 新会員期間1年間に於ける行事に対する出席：

新会員期間中は少なくとも地区協議会、地区大会、IGFには必ず出席し、且つ当クラブの炉辺会合にも出席する事が望ましい。各種ロータリー行事への参加はロータリアンとしての権利であって、参加する事に目的があることを認識していただけたら幸いである。

4. 奉仕活動に対する参加及び活動：

クラブの奉仕活動には積極的に参加し、ロータリーの奉仕の活動を体験する事によって個人の生活、自分の代表する職業分類（業界）に持ち帰り、それを拡大して行くことが大切であり、此の事が良く理解出来る人が望ましい。

5. 財団への協力：

《ボール・ハリス・フェローの意義》

ボール・ハリス・フェローになるには、1,000ドル、準フェローには100ドル／年払う。
勧誘されるから加入すると云うより、むしろ積極的に加入する気持ちになれる人が望ましい。

《経済的に自己裁量の出来る人が望ましい》

6. 最低5ケ年間メイク・アップ：

(出席補填)を含み出席100%の可能性を確認したい。特に入会時高令者に付いては考慮のこと。

7. 会費及年間行事に対する金銭的負担：

財政的に自己裁量の可能な立場にある人

＊ 会費⇒年 190,000円……これはクラブの運営費であって、奉仕の為の金は含まれていない。

＊＊ ニコニコ⇒年 30,000円以上……ロータリー特有のもので、これが社会奉仕の資金になる。

「親睦から奉仕」のロータリーの本質を具現しているだけに積極的にニコニコに献金する事が望ましい。

この献金は、会員相互の友情と信頼のあらわれと考えられている。

＊＊＊ 親睦委員会関係＝クリスマス会、年度末懇親旅行

親睦活動⇒年 40,000～60,000円位

＊＊＊＊ チャリティ・バザー⇒献品社会奉仕活動の資金源

8. 個人的な奉仕活動：

例会は楽しみ乍ら精神的修練を積む道場である。本当のロータリーの奉仕活動は個人の日常生活に於て積極的に奉仕活動をすることにある。

《人と人とのつながりには個人の意志や希望を越えた深いキズナが働いている。このつながりを大事にし、更に強めてゆきたい》

9. 企業としての奉仕活動：

職業は金儲けの手段ではなく、人間社会の分業の担い手としての報酬としてお金が報いられるという職業使命観を持つ事が要望される。

“一業種一人”の原則。企業の代表者であるという自覚を持てばロータリー活動への怠慢は、企業への怠慢であり、あくまでも自己の代表する企業への責任と義務を忘れないことが大切であり望ましい。

10. 個人の人の人柄：

正確に時間通り出席出来る性格と健康の持主であり自分で自分の時間の裁量が出来た人であることが望ましい。

毎週水曜日12時30分より1時30分の例会の30分前には例会場に到着し、例会前の雑談、懇親が出来れば望ましい。

⑨に示すような職業倫理を持つ評判の良い人

11. 人間的に寛容で立派な人、社交性に欠けていない人が望ましい。

併しあまり遠い過去の経歴にこだわらず現在の状況を重視したい。

12. 職業分類で同一業種の中のランクをある程度考慮することが望ましい。

《職業分類は貸与されるのであり、資格が不適格、企業を代表し得ない時点ではクラブへの返却開放されるべき性格のものである。》

13. 家族特に御夫人のロータリー活動の為の時間的・経済的負担への理解と積極的協力が得られることが望ましい。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

以上十三項目を私は正しく充分
に説明を受け承諾確認の上入会を
希望いたします。

____年 ____月 ____日

横浜緑ロータリークラブ会長殿

会員候補者

氏 名 _____ ㊟

もし入会が許されれば私は推薦
者として、これから1年間上記会
員の指導を約束します。

推薦者氏名 _____ ㊟

会員増強委員会報告

委員長 代々木 和 男
副委員長 古 谷 英太郎
委 員 三 沢 君 夫

今年度はあらかじめ退会者数を見込んで、純増5名以上年度末会員数50名以上を目標とし、五人制グループを編成して会員各位に協力をおねがいしました。御協力を感謝申し上げます。

結 果	年度初め	45名	
	入 会 者	10名	
	退 会 者	5名	
従って	年 度 末	50名	となりました。

プログラム委員会報告

委員長 幸 内 伸 雄
副委員長 山 下 栄 蔵
委 員 藪 島 五 郎

地域と「心のふれあいを深める」ため地元の方々の卓話に重点を置いたプログラムを実施しました。

地区及び分区その他会議及び諸行事

60.	3. 24 (日)	次期会長・幹事研修セミナー	ザ・エルシー 午後1時～	(2+1) 3
	7. 13 (土)	クラブ奉仕, 広報, R情報各委員長会議		(3+1) 4
	7. 20 (土)	地区拡大増強セミナー	川本工業ビル 14:00～16:30	1
	8. 7 (水)	横浜緑公式訪問		
	9. 9 (月)	職業奉仕, 米山委員長会議		2
	10. 5 (土)	川崎高津RCチャーターナイト		4
	10. 14 (月)	R財団委員長会議	川本工業ビル 14:30～16:30	(1+1) 2
	11. 10 (日)	ローターアクト地区大会		3
	11. 11 (月)	社会奉仕委員長会議		1
	11. 18 (月)	国際奉仕委員長会議		1
	11. 23 (土)	インターアクト地区大会		2
61.	1. 23 (木)	クラブ会長研究会	川本工業ビル	1
	1. 23 (木)	第3・第4分区IGF打合せ会	新横浜ホテル 会長パネラー	(3+1) 4
	2. 22 (土)	第3・第4分区IGF	ホスト 横浜北RC 高島屋	全 員
	3. 19 (水)	クラブ雑誌委員長会議		1
	3. 23 (日)	クラブ会長エレクト研修セミナー		2
	4. 23 (水)	横浜鶴見西RC十周年記念式典		1
	4. 29 (火)	GSE送別会		4
	5. 11 (日)	地区協議会	神奈川大学	13
	5. 18 (日)	RA地区協議会		2
	5. 24 (土)	神奈川東RC十周年記念式典		2
	6. 27 (金)	会長研修会	川本工業ビル 15:30～17:00	1

1985～86年度（昭和60年～61年度）

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
第一週	3日 会長・幹事 就任挨拶 クラブアッセンブリ	7日 ガバナー 公式訪問 上野ガバナー	4日 卓 話 緑区への移転に ついて 田島東洋英和 女学院長 クラブアッセンブリ	2日 米山委員会 フォーラム 富永委員長	6日 卓 話 囲碁について 加藤 勲氏 クラブアッセンブリ	4日 卓 話 職業報告 飯田重雄 会員 年次総会 (次期理事決定)
第二週	10日 新年度計画 四大奉仕委員長	14日 卓 話 戦後40年を 顧みて 森 善助 会員	11日 国際奉仕 フォーラム 大島委員長	9日 卓 話 職業報告 野村壮一郎 会員 土志田 猛 会員	13日 クラブ奉仕 フォーラム 中林委員長	11日 卓 話 中山北口の町づ くりについて 豊永利治氏
第三週	17日 クラブ奉仕 フォーラム 中林委員長	21日 職業奉仕 フォーラム 小林敬委員長	18日 卓 話 職業報告 金子 功 会員	16日 職業報告 上林正勝 会員	20日 卓 話 最近の治安状況 について 伊東緑警察署長	18日 クリスマス 家族会 於 横浜郵便 貯金会館
第四週	24日 卓 話 よもやま話 石川治道初代会長 定例理事会	28日 卓 話 会員増強月間 代々木和男委員長 定例理事会	25日 青少年 フォーラム 岡本健委員長 定例理事会	23日 卓 話 職業奉仕月間 吉橋伊佐男氏 定例理事会	27日 ロータリー 財団月間 林 とも氏 定例理事会	25日 前半を省みて 会長・幹事 定例理事会
第五週	31日 社会奉仕 フォーラム 城田昭次委員長 クラブアッセンブリ			30日 夜間例会 東工大留学生と 共に 於 新横浜ホテル		
主 な 行 事	クラブフォーラム クラブアッセンブリ	会員増強月間 ガバナー 公式訪問 8月7日(木)	青少年月間 会員、家族レク リエーション 9月21日(土) 地区大会 9月28日(土) 29日(日)	職業奉仕月間 米山月間 (第1週)	ロータリー 財団月間	

横浜緑 R C年間プログラム実績表

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
1日 休	5日 卓 話 税について 松田緑税務所長 クラブアッセンブリ	5日 卓 話 日本人の心 斉藤文夫氏	2日 卓 話 私の歩みと現在 森 善助元会長 クラブアッセンブリ	7日 卓 話 戦国時代と現代 片山丈士氏	4日 卓 話 神奈川県工業試験所について 望月照一前所長 クラブアッセンブリ
8日 年頭にあって 会 長	12日 職業奉仕 フォーラム 渡辺宏未 副委員長	12日 国際奉仕 フォーラム 加藤勇夫委員長	9日 雑誌月間 フォーラム 名倉情報委員長	14日 卓 話 郷土の人物 石井賢次郎氏	11日 一年を省みて 四大奉仕委員長
15日 休	19日 世界理解月間 中国のあれこれ (株)ケイサイ生薬 研究所 山田和雄氏	19日 卓 話 男女雇用機会 均等法について 高城千恵子港北 職業安定所長	16日 卓 話 私の人生体験 山下栄蔵元会長	21日 卓 話 心の健康と音楽 橋本宏海氏	18日 期 末 懇 親 会 於 熱海ニュー 赤尾
22日 社会奉仕 フォーラム 城田昭次委員長 定例理事会	26日 ロータリー 創立記念日 鶴川 昇会員 定例理事会	26日 卓 話 白山ハイテクパ ークについて 市経済局工業課 長 前田氏 定例理事会	23日 卓 話 職業報告 渡辺俊男会員 定例理事会	28日 卓 話 地区協議会報告 各部委員長 定例理事会	25日 会務終了に 当って 会長・幹事 定例理事会
29日 施設見学 於 NTT霞ヶ関 コミュニケーション センター 夜間例会 浜松町謝朋殿			30日 夜間例会 会員、夫人の会共催 於 横浜西口 加登屋		
	世界理解月間 創立記念日 2月23日(土) IGF(第3・4分区)		R 雑誌月間	地区協議会	

ロータリー情報委員会報告

委員長 山下 栄 蔵
副委員長 戸 田 裕 也
委 員 田 沼 文 衛

今期田沼会長の活動方針「心のふれあいを深めよう」を基本として

当クラブ創立以来16年の歩みの中で、古い会員と新しい会員とがロータリー精神を通して尚一層の心のふれあいを深めると共にクラブ活動の活性化をはかる事を目的とした情報委員会活動として、下記の通り実施した。

- | | |
|------------|---|
| 1985年 7 月 | 親睦委員会との合同でクラブ尚一層の活性化をはかる為には如何にあるべきかに付てのフォーラム |
| 1985年 10 月 | 夜間例会を会員増強に付てのフォーラムの場とした。 |
| 1985年 11 月 | 新会員よりの発言を主体としたフォーラム |
| 1985年 12 月 | 参加者全員より発言を求めたフォーラム |
| 1986年 4 月 | 婦人同伴の夜間例会であったので、此の場を婦人の方にもロータリー精神に付て理解して戴くフォーラムとした。 |

上記の通り実施し、此の際活発な意見交換が行われた。

広報委員会報告

委員長 赤 柄 忠 昭
副委員長 名 倉 健 二
委 員 好 井 良 雄
山 下 栄 蔵

地域社会に対して、ロータリーの活動を理解して戴く為に、会員、一人一人が広報委員となって戴き、又、各委員会が行なう行事について、広報活動を行ないました。

S. A. A. 報 告

S A A 近 藤 襄
副 S A A 中 村 彰 宏
土志田 猛
薮 島 五 郎

会員各位のご協力により例会が支障なく運営出来たことを深く感謝します。

今期特別な行事はありませんでしたが着実に次の事を実行しました。

1. 時間通り例会を進める。
2. 健康体操を例会 5 分前に行う。
3. 例会中の禁煙。
4. 例会食事は出前店の変更に より好評を得た。
5. お祝い時のスマイルは全員が規定額を出して下さり、奉仕活動資金に寄与した。
6. 今年度地区大会に近藤は大会副 S A A として役目を果たした。

社会奉仕委員会報告

委員長 城 田 昭 次
副委員長 加 藤 貞 夫
委 員 代々木 和 男
矢 島 誠 治

- (1) 12月24日中里学園の園児80名にクリスマスプレゼントに訪問、玩具をプレゼント致しました。総額10万円
- (2) 緑区青少年野球大会に協力金として寄付。
- (3) 緑区子供自転車安全運転競技大会に協力金として寄付。
- (4) 緑区火災発生率最低記念式典にチャリティーバザーを開催、収益金全額を緑警察交通課に寄付、
内訳 小学校の交通教育用ダーミン人形1体、幼稚園用交通教育ビデオテープ1巻、小学校交通教育用ビデオテープ2巻を寄付致しました。

青少年委員会報告

委員長 岡本 健
副委員長 中村 彰 宏
委員 加藤 勇 夫
(田辺 政 雄)

- 1) 9月の青少年月間にはフォーラムを開催、青少年のあり方について活発な意見の交換を行った。
- 2) ライラにミロク機械(株)より2名参加、好評であった。
- 3) 緑区青少年野球大会に応分の寄付と共に田沼会長外が出席した。

インターアクト委員会報告

委員長 内野 晃
副委員長 遠藤 真 作
委員 鵜川 昇
加藤 貞 夫
長瀬 正 作

1. インターアクトクラブの例会に毎回2名、RC会員が出席をするようにした。
2. 第18回年次大会が松田高校で行われたが、多数参加した。
3. 海外研修には参加出来なかった。
4. 61. 6. 30 交換学生マリークラクの送別会をインターアクト主催で行いバナーを交換した。

鵜川, 森 会員出席

桐蔭学園高等学校 I. A. C. 活動報告

顧問教師 田 中 実 会 長 緒 方 正 行 会員数 86名
副会長 田 部 宏 幹 事 有 江 英 樹

- I A C年次大会に参加した。(松田高校)
- 古切手, ベルマーク等の収集に努力した。
- 中里学園児を秦野の瀧沢園に招待して, バーベキューその他サービスをした。
- 市ヶ尾駅, 鶴見川サイクリングロードを清掃した。(学校周辺, すすきの)
- 車椅子を文化祭を通して, 一般客に紹介した。

ローターアクト委員会報告

委員長	遠藤真作
副委員長	富永力
委員	代々木和男
	鵜川昇
	三橋英一

- ① クラブ例会において其の都度ロータリー情報を報告することは時間等の制約があり困難だった。
充分納得してもらえなかったと思う。
- ② ローターアクト例会にロータリアンの出席が予定よりも少なかった。
- ③ 県立丹沢少年キャンプ場に於て中里学園、桐蔭高専の共同キャンプ生活に多数参加して協同生活の大切さを一緒に学んだ。

職業奉仕委員会報告

委員長	小林敬
副委員長	岡本健
委員	好井良雄
	渡辺宏未

「職業奉仕」についての理解と実践をはかるために、次のような活動を致しました。

- ① 職業奉仕に関するフォーラムを8月21日及び2月12日に実施して意識の高揚をはかりました。
- ② 職場訪問

場 所 : NTT霞ヶ関コミュニケーションセンター見学
日 時 : 1月29日(水) 午後3時～5時
参加人数 : 18会員

21世紀の高度情報社会に対応する新しい通信システムの応用例を見学いたしました。現在は三鷹～武蔵野間で実験中でした。INSは私たちのこれからの生活に様々な変化をもたらすと思われます。21世紀の生活環境の一部分を見ることが出来ました。

国際奉仕委員会報告

委員長 加藤 勇 夫
副委員長 名 倉 健 二
委 員 (大 島 匡 佐)

大島匡佐委員長が昭和61年7月31日付退会となり以後は副委員長・加藤勇夫が担当した。

1. 留学生を夜間例会に招待

親睦委員会と協力して10月30日新横浜ホテルで行なわれた夜間例会に東工大留学生9名を招待し、フランス、フィリピン、ネパール、韓国、台湾の学生と交流を深めた。

2. 姉妹クラブ韓国大邱松林RCとの交流は習慣の違い、言葉の違いからゆき違いがあり、今期は交流がなかった。

クラブ単位ではなく個人的な交流で相互同意しています。

3. 韓国慶州ナザレ園への援助

259地区としてナザレ園へ3ヶ年間の援助をしているが、これより以前に我がクラブは大邱松林RCとの交流以来続けているもので今期は寺崎世界社会奉仕委員長が地道な活動として例会ごとに募金箱を回して集めた10万円を援助することになっている。

4. ①メキシコ地震の見舞金 ②アフリカ難民救済の拠出金 ③ コロンビア火山爆発被災者の見舞金等の拠出。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 寺崎 誠 三
副委員長 好井 良 雄
委員 城田 昭 次
岩本 正 三

- 1) 当初アフリカ地区難民に愛の手を差し伸べるための寄金を調達するために毎週例会に寄金箱を廻し会員の皆様方に御協力をお願い致しましたが、途中にて寄金先を変更致しまして、韓国慶州ナザレ園に贈る事となり、募金額¥135,143のうち¥100,000をナザレ園に贈り残¥35,143を来期の世界社会奉仕委員会に繰越致しましたのでよろしく。御協力有難うございました。
- 2) 世界理解月間には、株式会社ケイサイ生薬研究所長山田和雄氏を例会にお招き致し、「中国のあれこれ」と云う事で卓話をお願い致し国際理解を深める事が出来ました。

ロータリー財団委員会報告

委員長 森 善 助
副委員長 長瀬 正 作
委員 野村 壮一郎
三橋 英 一

1. ロータリー財団月間には財団学友 林とも氏を招き卓話をいたしました。
2. ポール・ハリス・フェローに幸内、田沼会員がなり、また森一哉会員他の寄附の協力をいただきました。
3. 財団奨学生として松村武人君がアメリカ・ニューヨークに勉学とロータリーの親睦にはげんでおられます。

○ボールハリスフェロー

現 会 員 (敬称略)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 古 谷 英太郎 | 8. 長 瀬 正 作 | 15. 内 野 晃 |
| 2. 岩 本 正 三 | 9. 名 倉 健 二 | 16. 鷺 川 昇 |
| 3. 岩 岡 正 | 10. 岡 本 健 | 17. 矢 嶋 誠 治 |
| 4. 小 林 安 雄 | 11. 田 沼 文 衛 | 18. 山 下 栄 蔵 |
| 5. 幸 内 伸 雄 | 12. 寺 崎 誠 三 | 19. 好 井 良 雄 |
| 6. 三 沢 君 夫 | 13. 戸 田 裕 也 | 20. 代々木 和 男 |
| 7. 森 善 助 | 14. 富 永 力 | |

元 会 員

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 土志田 昭 吉 殿 | 7. 浜 田 勝 弥 殿 |
| 2. 黒 沢 保 殿 | 8. 岩 崎 董 正 殿 |
| 3. 高 橋 正 文 殿 | 9. 鈴 木 憲 一 殿 |
| 4. 武 藤 松 一 殿 | 10. 田 辺 政 雄 殿 |
| 5. 石 川 治 道 殿 | 11. 中 山 恒三郎 殿 |
| 6. 山 口 吉 蔵 殿 | |

会 員 外

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 武 藤 勝 典 殿 | 5. 森 玉 江 殿 |
| 2. 武 藤 義 一 殿 | 6. 田 辺 しげ子 殿 |
| 3. 武 藤 泰 典 殿 | 7. 中 山 礼 子 殿 |
| 4. 武 藤 純 子 殿 | |

○準フェロー (敬称略)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 赤 柄 忠 昭 | 11. 中 林 靖 |
| 2. 遠 藤 真 作 | 12. 中 畑 龍 二 |
| 3. 林 達 磨 | 13. 中 村 彰 宏 |
| 4. 飯 塚 金次郎 | 14. 城 田 昭 次 |
| 5. 加 藤 勇 夫 | 15. 渡 辺 宏 未 |
| 6. 加 藤 貞 夫 | 16. 薮 島 五 郎 |
| 7. 小 林 敬 | 17. 横 井 好 明 |
| 8. 近 藤 襄 | 18. 代々木 和 男 (2回目) |
| 9. 三 橋 英 一 | 19. 森 一 哉 |
| 10. 森 善 助 (2回目) | |

米山奨学委員会報告

委員長 富 永 力
副委員長 野 村 壮一郎
委 員 林 達 磨

(1) 黄江清(台湾) 東京工業大学(在学中)

本年度奨学生として推薦・選考合格、奨学金支給中。

(2) 上半期の特別寄附金が予想より少なかったため、下期目標額30万円を設定して特に未加入会員に協力を呼びかけた処、既加入会員の協力があり目標額の36%を越えることが出来ました、会員各位の御協力に厚く深く御礼申し上げます。

50,000円	1名
30,000円	11名
20,000円	1名
10,000円	1名
合計 410,000円	14名

◎米山功労者

1. 岩 岡 正	3. 小 林 安 雄	5. 三 沢 君 夫
2. 森 善 助	4. 長 瀬 正 作	

元 会 員

1. 秋 田 茂 殿	2. 武 藤 松 一 殿	3. 田 辺 政 雄 殿
------------	--------------	--------------

◎米山準功労者

1. 赤 柄 忠 昭	12. 中 畑 龍 二	23. 藪 島 五 郎
2. 遠 藤 真 作	13. 中 村 彰 宏	24. 山 下 栄 蔵
3. 飯 塚 金次郎	14. 岡 本 健	25. 横 井 好 明
4. 加 藤 勇 夫	15. 城 田 昭 次	26. 好 井 良 雄
5. 加 藤 貞 夫	16. 田 沼 文 衛	27. 代々木 和 男
6. 小 林 敬	17. 寺 崎 誠 三	28. 飯 田 重 雄
7. 小 林 新 一	18. 戸 田 裕 也	29. 上 林 正 勝
8. 幸 内 伸 雄	19. 富 永 力	30. 森 一 哉
9. 近 藤 襄	20. 内 野 晃	31. 高 嶋 経 保
10. 名 倉 健 二	21. 鶴 川 昇	32. 田 中 克 己
11. 中 林 靖	22. 渡 辺 宏 未	

会 員 外

富 永 み や 殿 岩 岡 明 子 殿

会 計 報 告

(1985. 7 ~ 1986. 6)

会 計 薮 島 五 郎

〔 一 般 会 計 の 部 〕

(収 入 の 部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	6,270,000	6,874,500	
入 会 金	300,000	800,000	
雑 収 入	0	53,802	
前 期 繰 越	652,668	652,668	
収 入 合 計	7,222,668	8,380,970	

(支 出 の 部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
本 部 資 金	270,000	263,152	
地 区 分 担 金	571,200	587,200	
地 区 大 会 分 担 金	240,000	225,000	
I G F 分 担 金	168,000	161,000	
地 区 協 議 会 分 担 金	75,000	98,000	
米 山 資 金	168,000	162,750	
予 備 費	140,000	207,784	
本 部 関 係 計	1,632,200	1,704,886	
例 会 費	250,000	238,798	
記 念 品	300,000	300,000	
通 信 費	70,000	65,340	
消 耗 品	30,000	16,843	
印 刷 費	500,000	496,500	
事 務 委 託 費	1,350,000	1,240,000	
備 品 費	10,000	81,520	

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
交 際 費	6 0,0 0 0	7 5,0 0 0	
雑 誌 文 献	1 4 8,0 0 0	1 4 8,0 0 0	
慶 弔 費	2 0,0 0 0	2 3,0 0 0	
予 備 費	1 3 0,0 0 0	1 0 9,3 3 2	
総 務 費 計	2,8 6 8,0 0 0	2,7 9 4,3 3 3	
出 席	0	0	
職 業 分 類	0	0	
親 睦	1,0 0 0,0 0 0	1,0 0 0,0 0 0	
雑 誌	0	0	
会 報	9 5 0,0 0 0	8 8 7,5 0 0	
会 員 選 考	0	0	
会 員 増 強	0	0	
ブ ロ グ ラ ム	4 0 0,0 0 0	2 6 3,0 0 0	
R 情 報	0	0	
S A A	1 0 0,0 0 0	9 7,5 0 0	
雑 費	1 0,0 0 0	1 0,0 0 0	
広 報	0	0	
予 備 費	2 6 2,4 6 8	2 4 2,2 9 0	
事 業 費 計	2,7 2 2,4 6 8	2,5 0 0,2 9 0	
支 出 合 計	7,2 2 2,6 6 8	6,9 9 4,8 8 9	

〔特別会計（食事）の部〕

（収入の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
年 会 費	2,280,000	2,280,000	
ビ ジ タ ー 登 録 料	120,000	93,000	
雑 収 入	0	0	
前 期 繰 越	500,000	500,000	
収 入 合 計	2,900,000	2,873,000	

（支出の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
例 会 食 事 費	2,280,000	2,088,300	
予 備 費	620,000	0	
支 出 合 計	2,900,000	2,088,300	

〔特別会計（奉仕）の部〕

（収入の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
ス マ イ ル	1,000,000	1,380,275	
雑 収 入	0	0	
前 期 繰 越	1,146,221	1,146,221	
収 入 合 計	2,146,221	2,526,496	

（支出の部）

科 目	予 算 額	決 算 額	
職 業 奉 仕	50,000	0	
社 会 奉 仕（一 般）	500,000	159,280	
〃 （青少年）	0	0	
〃 （インターアクト）	100,000 100,000	100,000 71,800	
〃 （ローターアクト）	100,000 100,000	100,000 7,000	
国 際 奉 仕	100,000	54,000	
世 界 社 会 奉 仕	0	0	
予 備 費	1,096,221	20,000	
支 出 合 計	2,146,221	512,080	

別 途 資 金 明 細

定 期 預 金	1,649,369 円
インターアクト準備金	100,000 円
ローターアクト準備金	100,000 円
	<u>1,849,369 円</u>

預 り 金 明 細

米山奨学生6月分	220,000 円
年会費62/上期分	95,000 円
	<u>315,000 円</u>

決 算 残 高	4,180,577 円
次 期 繰 越 金	2,180,577 円
定 期 預 金	2,000,000 円

収 支 内 訳

収 入

(イ) 一般会計	9,154,500 円	年 会 費
	800,000	入 会 金
	53,802	雑 収 入
	<u>652,668</u>	繰 越 金
計	10,660,970	
(ロ) 特別会計	93,000	ビクター登録料
	500,000	繰 越 金
(奉仕)	1,380,275	ス マ イ ル
(")	<u>1,146,221</u>	繰 越 金
計	3,119,496	

支 出

本部関係	1,704,886 円
総 務 費	2,794,333
事 業 費	<u>2,500,290</u>
(ホ) 計	6,999,509
食事関係	2,088,300
奉仕関係	<u>512,080</u>
(ヘ) 計	2,600,380
(ト) 支出合計	9,599,889

(ニ) 収入合計 13,780,466 (イ)+(ロ)

差引次期繰越予定額 (ニ)-(ト) 4,180,577 円

横浜緑ロータリー・クラブ組織表

1985～1986年度（昭和60年～昭和61年度）

1. 理事	田 沼 文 衛	中 林	靖 山 下 栄 蔵	城 田 昭 次
	岡 本 健	小 林	敬 (大 島 匡 佐)	
2. 役員	会 長	田 沼 文 衛	副幹事	赤 柄 忠 昭
	幹 事	岩 岡 正	副SAA	中 村 彰 宏
	副会長	中 林 靖	"	土 志 田 猛
	S A A	近 藤 襄	"	薮 島 五 郎
	会 計	(河 原 照 忠)	副会計	(横 須 賀 和 吉)
	"	(横 須 賀 和 吉)	"	(薮 島 五 郎)
	"	薮 島 五 郎	"	野 村 壮 一 郎
			"	横 尾 裕 生
3. 委員会	(◎印 委員長 ○印 副委員長)			
A クラブ奉仕委員会 (担当理事)	中 林	靖	○内 野 晃	代々木 和 男
1. 出 席 委 員 会	◎加 藤 貞 夫	○土 志 田 猛		
2. 職業分類委員会	◎(豊 田 洋)	○赤 柄 忠 昭(2)	中 畑 龍 二(3)	
3. 親睦活動委員会	◎横 井 好 明	○薮 島 五 郎	赤 柄 忠 昭	加 藤 貞 夫
	(大 島 匡 佐)	小 林 敬	中 村 彰 宏	金 子 功
	渡 辺 宏 未	飯 塚 金 次 郎	野 村 壮 一 郎	土 志 田 猛
	小 林 新 一	飯 田 重 雄	上 林 正 勝	森 一 哉
	高 嶋 経 保	田 中 克 己	渡 辺 俊 男	小 杉 隆
	斎 藤 宏 一	和 田 功		
4. 雑 誌 委 員 会	◎薮 島 五 郎	○小 林 安 雄	富 永 力	岩 本 正 三
5. 会 報 委 員 会	◎中 畑 龍 二	○渡 辺 宏 未	飯 塚 金 次 郎	野 村 壮 一 郎
	土 志 田 猛	中 村 彰 宏		
6. 会 員 選 考 委 員 会	◎戸 田 裕 也	○遠 藤 真 作	矢 島 誠 治	
7. 会 員 増 強 委 員 会	◎代々木 和 男	○古 谷 英 太 郎	三 沢 君 夫	
8. プログラム委員会	◎幸 内 伸 雄	○山 下 栄 蔵	薮 島 五 郎	
9. ロータリー情報委員会	◎山 下 栄 蔵	○戸 田 裕 也(2)	田 沼 文 衛(3)	
10. 広 報 委 員 会	◎赤 柄 忠 昭	○名 倉 健 二	好 井 良 雄	山 下 栄 蔵
B 社会奉仕委員会 (担当理事)	◎城 田 昭 次	○加 藤 貞 夫	代々木 和 男	
	矢 島 誠 治			
青少年担当理事	◎岡 本 健	○中 村 彰 宏	加 藤 勇 夫 (田 辺 政 雄)	
1. インターアクト委員会	◎内 野 晃	○遠 藤 真 作	鶴 川 昇	加 藤 貞 夫
	長 瀬 正 作			
2. ローターアクト委員会	◎遠 藤 真 作	○古 谷 英 太 郎	代々木 和 男	鶴 川 昇
	三 橋 英 一			
C 職業奉仕委員会 (担当理事)	◎小 林 敬	○岡 本 健	好 井 良 雄	
	渡 辺 宏 未			
D 国際奉仕委員会 (担当理事)	◎(大 島 匡 佐)	◎加 藤 勇 夫	名 倉 健 二	
1. 世界社会奉仕委員会	◎寺 崎 誠 三	○好 井 良 雄	城 田 昭 次	岩 本 正 三
2. ロータリー財団委員会	◎森 善 助	○長 瀬 正 作	野 村 壮 一 郎	三 橋 英 一
3. 米山奨学委員会	◎富 永 力	○野 村 壮 一 郎	林 達 磨	
会 計 監 査	加 藤 貞 夫	金 子 功	(7/24 理事会に於て決定)	

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ロータリーの鐘とハンマー	1	アクリル名札板	1
国 旗	1	卓上名札	23
クラブ旗	1	テーブル・クロス	21
認 証 状	1	コーヒー・セット	40
スマイル・ボックス	1	マホー・ピン	10
グッド・ウィル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
レクチャー・アンプ	1	茶 棚	1
テープ・レコーダー	1	シュガー・ポット	6
レコード・プレーヤー	1	ナブキン立て	6
レコード(ロータリー・ソング)		調味料入れセット	6
ワイヤレス・マイク	3	クラブ小旗(さお共)	10
会員個人別ボックス	2	クラブ印(角)	1
書 庫	2	クラブ会計印	1
バナー掛(各クラブのバナー共)	2	書 類 棚(W90×H180)	2
バナー立て	13	冷 蔵 庫	1
タ ス キ	11	スマイル・レポート入れ	12
パ ネ ル	19	スイス・カウベル	1
写 真 機	1	漆谷RCから点鐘台(大邸松林RC)	1
黒 板	1	〃 記念楯	1

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正 会 員 (ACTIVE)

昭和 61 年 6 月 31 日現在

関 連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
	内 科 医	Physician			
医	循 環 器 科 医	Circulatory Surgeon	上 林 正 勝	横浜北中央病院	理事長兼院長
	外 科 医	Surgeon	(内 野 晃	内野医院	院 長)
	小 児 科 医	Pediatricist			
	産 婦 人 科 医	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 襄	近藤病院	院 長
	歯 科 医	Dentist			
施 設 及 び 病 院	口 腔 外 科 医	Oral Cavity Surgeon	林 達 磨	林歯科医院	院 長
	病 院	Hospital	戸 田 裕 也	長津田厚生総合病院	院 長
	高 等 学 校	Senior High School			
教 育	幼 稚 園	Kindergarten	森 一 哉	学校法人 長津田学園 長津田幼稚園	理事長兼園長
	私 塾	Private School	矢 島 誠 治	中山学園	経 営 者
	弁 護 士	Lawyer			
ビ ジ ネ ス サ ー ビ ス	税 理 士	Tax Service			
	経 営 相 談	Business Counseling Service	加 藤 貞 夫	加藤税務会計事務所	所 長
	司 法 書 士	Judiciary Scribner Service			
	行 政 書 士	Government Administration Service	和 田 功	和田会計事務所	所 長
	仏 教	Buddhism			
宗 教	神 道	Shintoism			
	送 風 器	Blower			
機 械 及 び 装 置	建 設 機 械	Construction Machinery			

関	連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
		分	類			
機 械 及 び 装 置 金 属 加 工 業	履 帯 工 業	履 帯	Caterpillar			
		板 金 工 作	Sheet Metal Working			
		金 型 製 造	Molds Mfg			
自 動 車 工 業	自 動 車 修 理	自 動 車 販 売	Automobile Dealers	(豊 田 洋	北京浜三菱自動車販売㈱	取締役社長
		自 動 車 修 理	Automobile Repairing	小 林 敬	㈱ブラザーモーター	代表取締役
		体 育 訓 練	Physical Training			
電 気 及 び 電 子 工 業	電 気 工 事	電 気 工 事	Electric Construction			
		電 気 器 具 製 造	Electric Appliance Mfg	薮 島 五 郎	関東電気㈱	相 談 役
		測 量	Land Surveying			
技 術 法	物 理 療 法	物 療 科 医	Physical Therapeutics	加 藤 勇 夫	加藤接骨院	院 長
		ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing			
		金 型 製 造	Mold Mfg			
印 刷 及 び 出 版	書 籍 販 売	書 籍 販 売	Book Dist			
		石 油 製 品	Refined Oil Products	岩 岡 正	岩岡商事㈱	代表取締役
		ガソリン販売	Gasolin Dist	城 田 昭 次	㈱城田石油	代表取締役
船 舶 及 び 航 海 用 具	船 舶 修 理	船 舶 修 理	Ship Repairing			
		銃 器	Fire Arms			
		銃 器 及 び 火 薬				
通 信 事 業	電 話 事 業	電 話 事 業	Telephone Service	渡 辺 俊 男	NTT 中山電報電話局	局 長
		情 報 通 信	Information	(大 島 匡 佐)		
		建 築 請 負 業	General Contracting	横 井 好 明	横井通信工業㈱	代表取締役
建 設 業	建 築 設 計	建 築 設 計	Architect	渡 辺 宏 未	㈱渡辺工務店	代表取締役
		木 造 建 築	Wooden Building Construction	寺 崎 誠 三	㈱寺崎工務店	代表取締役
				小 杉 隆	太陽建設㈱	代表取締役

5/31 退会

3/12 入会
1/31 退会

6/11 入会

関	連	職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
		業 分	類			
建 設	業	土 木 工 事	Public Works			
		舗 装 工 事	Pave Construction	飯 塚 金次郎	宇路建設㈱	代表取締役
建 築 材 料 資 材		建 築 材 料	Building Material	代々木 和 男	㈱代々木商店	取締役社長
		アスファルト製品	Asphalt Products	中 林 靖	日本舗材㈱	取締役会長
		生 コ ン 配 布	Concrete Distributing	幸 内 伸 雄	日建輸送㈱	代表取締役
		設 備 工 事	Equipment Construction	速 藤 真 作	㈱速藤製作所	社 長
		家 庭 用 家 具	Household Furniture			
家 具 及 び 室 内 装 飾		室 内 装 飾 用 品	Upholstering			
		不 動 産 業	Real Estate Agency	土志田 猛	㈱岩本不動産商会	代表取締役
不 動 産		ビ ル 賃 貸	Building Renting			
		貸 ス タ デ ィ オ	Renting Studio			
		土 地 賃 貸	Proprietary Renting	斉 藤 宏 一	斉藤興業開発㈱	取締役社長
輸 送		貨物自動車輸送	Trucking Service			
		旅 行 幹 旋	Tourist Agency	赤 柄 忠 昭	サン東総業㈱	専務取締役
衣 料		綿 製 品	Cotton Goods	(河 原 照 忠)	㈱トーカー横浜支店	支 店 長
		リネンサービス	Linen Supply			
農 業 及 び 造 芸		農 業	Agriculture			
		飼 料	Feeds			
畜 産 業		獣 医	Veterinary Surgeon	中 畑 龍 二	中畑動物病院	院 長
		木 材 販 売	Lumber Dist	小 林 新 一	小林建設林業㈱	代表取締役
食 品		酒 精 飲 料	Alcoholic Beverage			
		食 品 輸 入 出	Food Importing & Exportion			

6/11 入会

3/31 退会

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
金 融	関 連			
	都 市 銀 行	金 子 功	三井銀行青葉台支店	支 店 長
	地 方 銀 行	(横須賀 和 吉) 横 尾 裕 生	横浜銀行中山支店	支 店 長
	外 国 為 替 銀 行	野 村 壮 一 郎	東海銀行中山支店	支 店 長
印 刷 及 び 広 告	信 用 金 庫			
	広 告 業			
	印 刷	飯 田 重 雄	飯田印刷(株)	代表取締役
	広 告 取 扱	高 嶋 経 保	横浜標識(株)	代表取締役
	活 版 印 刷	田 中 克 己	日本ビジネス・フォーム(株)	代表取締役
美 容	理 容			
	美 容 院	中 村 彰 宏	旬中村アルモニー	代表取締役

4/30 退会
6/25 入会

9/25 入会
12/4 入会
1/8 入会

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元		職	業	分	類	会	員	名	勤	務	先	役	職	名
	ビニール高周波加工				Vinyl High Frequency Processing	富	永	力	富永高周波工業(株)			代表取締役		
	板金工作				Sheet Metal Working	小	林	雄	(株)小富士産業			取締役社長		
	歯科	医			Dentist	岩	本	正三	岩本歯科医院			院長		
	高等学校	校			Senior High School	鶴	川	昇	桐蔭学園			理事長・校長		
	履帯				Catapult	名	倉	健二	(株)東京リンク製作所			相談役		
	タクシー業	業			Taxicab Service	長	瀬	正作	網島交通(株)			取締役		
	室内装飾用品	品			Upholstering	古	谷	英太郎	(株)ペイント・アート			代表取締役		
	ビル賃貸	貸			Building Renting	森		善助						
	食品材料配布	布			Foods Material Distributing	田	沼	文衛	グリーン食品(株)			相談役		
	ボーリング場	場			Bowling	三	沢	君夫	三沢合資会社			代表者		
	鉄鋼建築業	業			Iron Building Industry	好	井	良雄	(株)好井鉄工所			代表取締役		
	銃	器			Fire Arms	岡	本	健	ミクロ機械(株)			取締役会長		
	建設機械	械			Construction Machinery	山	下	栄蔵	山下工業(株)			取締役社長		
	(船舶修理	理			Ship Repairing	田	辺	政雄	大丸工業(株)			代表取締役)		
	土木工事	事			Public Works	三	橋	英一	三橋建設(株)			取締役社長		

